

(様式 7)

平成 30 年 2 月 14 日

人間社会学研究科長 様

審査委員会

主査 中村 龍文 ㊟

副査 滝 知則 ㊟

副査 熊谷 賢哉 ㊟

学位論文審査報告書および最終試験結果報告書

研究科名	人間社会学研究科	専攻名	地域マネジメント専攻
学籍番号	1511D01	氏名	中村 容子
論文題目	大河ドラマ放映を活用した地域振興に関する研究		
学位論文概要と意義			
<p>NHK 大河ドラマを活用した自治体の社会・経済・文化の発展に寄与した地域振興について明らかにすることを目的として、申請者は研究を遂行した。論文の構成としては 1) テレビ放映と NHK 大河ドラマとの関係におけるその時代背景と変遷等について論述し、2) 大河ドラマの観光活用の変容について分析を行い、その後具体的に 3) 大河ドラマの舞台となったいくつかの地域に焦点をあて、詳細な現地調査および聞き取り調査の結果なども加えて研究を展開させた。研究の学術的背景および社会的背景として 1) メディアの活用 2) 旅行地選択におけるメディアの役割 3) メディアを活用した観光振興 4) 大河ドラマの観光活用 5) 地域資源を活用した地域振興の順に論理的に展開している点、そして膨大な文献研究および詳細な現地調査によって得られた情報をわかりやすくまとめている点について十分に評価できると思われる。したがって、本研究は地域振興に対して大河ドラマは一定の大切な役割を果たしているということを明らかにした点において、十分に意義があるものと考えられる。</p>			
判定			
〔論文審査の結果の要旨〕			
<p>本研究は地域振興におよぼす NHK 大河ドラマの影響を学術的に分析し、また詳細な現地調査と聞き取り調査を行い、その効果の有用性について明らかにした。また、ただ単にメディアと観光誘致の観点から眺めるのではなく、地域資源の再発見や伝統芸能の再認識・継承、地域住民のコミュニティの再生や学校の新たな地域学習、震災の被災地復興等々に対してこの大河ドラマ放映が果たした多大なる役割について明らかにした点においてユニークであり、地域マネジメント専攻の博士学位論文として妥当であると評価したい。すなわち、大河ドラマは地域を振興させる手</p>			

(様式 7)

段として十分に活用できることを初めて明確にした研究と考えられる。

以上より、博士学位請求論文審査および最終試験の結果合格と判断した。

※下線部に合格または不合格と記入して下さい。